

# 農地集約に精力的に取り組み地域をけん引

～宮崎県延岡市 三雲治男さん（水稻・玉ネギ）～



集約した農地で握手を交わす三雲さん(右)と山内さん 写真提供:JA延岡

## 【主要な取り組み】

三雲治男さんは葉付き出荷する延岡市の主力作物「空飛ぶ新玉ネギ」のブランド化に早くから携わり、品質向上と商品のPRに力を入れ、ブランド確立に尽力してきた。

耕作条件の改善にも精力的に取り組み、隣接する農業者山内憲次さんに呼びかけ、畦畔を取り除き農地を集約。大型機械による作業効率もアップし、4～5日かかっていたほ場の整形作業が1.5日に短縮するなど、生産性の向上と労力低減を実現した。

## 【その他の取り組み】

- 集約後に拡大した農地に対応するため、玉ネギの収穫を近隣の社会福祉法人へ依頼し、農福連携を実施。
- 地元の小中学生への農業体験学習を通じた食育への協力。

- 宮崎県独自の認証制度「ひなたGAP」の取得により、食品安全、環境保全、労働安全等の生産工程管理を実施。
- 近年増加しているジャンボタニシの被害撲滅のため、農業者40名を集めた勉強会を開催。

## 【人物紹介】



三雲治男さん(78才)

### ●経営内容

水稻 11.0ha  
〔主食用 4.5ha〕  
〔飼料用米 6.5ha〕  
裏作 玉ネギ1.3ha

いつも穏やかな笑顔の三雲さんは、皆から「はるちゃん」と呼ばれ慕われている。地元JA延岡の玉ネギ部会長として部会員105名を束ね、頼れる父親的存在である。高度な栽培技術を有し、若い部会員からの技術面の相談も多い。

三雲さんが経営する「茜・三雲農園」の「茜」とは茜色の空を含めた綺麗な自然と向き合う農園でありたいとの思いが込められている。

## 【今後の展望】

周辺の沖田地区では、小さなほ場が多く作業効率が悪いことから、農業競争力強化農地整備事業による基盤整備を進めているところである。

ほ場の区画拡大と暗渠排水による乾田化対策により、麦の栽培の復活や飼料作物の導入及び玉ネギなどの高収益作物の作付け拡大を図り、農地を次世代の担い手に繋いでいきたい。